第 VIII 欄(iv)、発明者である旨の申立て(米国を指定国とする場合)

申立ては実施細則第 214 号に規定する以下の標準文含を使用して作成しなければならない。第四個と同類(①~(v)の備考の総論部分、及び本頁に特有の事項について第四個(cv)の備考を参照。この倒を使用しないときは、この用紙を願むに含めないこと。

発明者である旨の申立て(規則 (米国を指定	リ4.17(iv)及び 51 の 2.1(a)(iv)) 国とする場合)
私は、特許静求の範囲に記載され、かつ特許が求められている対象に関 されていない場合)か、あるいは共同発明者である(複数の発明者が記載	到して、自らが最初、最先かつ唯一の発明者である(発明者が1名しか記載 されている場合)と信じていることを、ここに申し立てる。
本申立ては、本哲がその一部をなす国際出願を対象としたものである。	(出願時に申立てを提出する場合)。
本申立ては、国際出願 PCT/	_を対象としたものである(規則 26 の 8 に従って申立てを提出する場合)。
私は、特許請求の範囲を含め、上記国際出願を検討し、かつ内容を理解 上記出願の願書において主張する優先権を特定し、かつ、「先の出願」とい	平していることを、ここに表明する。私は、PCT 規則 4.10 の規定に従い、 いう見出しの下に、出願番号、国名又は世界貿易機関の加盟国名、出願日、 いる PCT 国際出願を会め、優先権を主張する本出願の出願日とりませる。
先の出願:	
私は、連邦規則法典第 87 編規則 1.56(87 C.F.R. § 1.56)に定義された こに承認する。さらに、一部継続出願である場合、先の出願の日から一部 いて開示義務があることを承認する。	特許性に関し重要であると知った情報について開示設務があることを、こ 総続出願の PCT 国際出願日までの間に入手可能になった重要な情報につ ・
故意に虚偽の陳述などを行った場合は、米国法典第 18 編第 1001 条に基づ	信念に関する陳述が真実であると信じることをここに申し立てる。さらに、 5き、罰金、拘禁、又はその両方により処罰され、またそのような故意によ ても、その有効性を危うくすることを理解した上で陳述が行われたことを、
·	
氏名: 矢部 俊一	
住所: 神奈川県藤沢市 日本国	
(都市名、米国の州名(該当する場合)又は国名)	
郵便のあて名: <u>251ー0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明一丁</u>	<u> 日5番50号 日本精工株式会社内</u>
国籍: <u>日本国 JAPAN</u>	
発明者の署名: /天 京『 イ袋 ―	日付:2004/3/15
(国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代理人ではなく、発明者のものでなければならない。)	(国際出願の願啓に発明者の署名がない場合や、規則 26の8に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)
·····································	
_{住所:} 神奈川県藤沢市 日本国	
三所:	
郵便のあて名: 251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明一 丁	目5番50号 日本精工株式会社内
国籍: 日本国 JAPAN	
発明者の署名: 4 と 家	日付: 2004/3/19
(国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 8 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代理人ではなく、発明者のものでなければならない。)	(国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 8 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)
✓ この申立ての続載として「第VIMI(iv)の締ましがある	

PCT/JP2004/003629

	5			-

笙	VIII	糊(T)	~(v	の続き	申立て

第個個①~(v)の紙面が不足する場合(同個Gv)において2人以上の発明者を記載する場合を含む)、「第個個…((i)~(v)の番号を記載)の続き」としたうえ、当該申立て と同様に必要事項を記載する。2以上の申立てにおいて紙面不足がある場合、それぞれに別々の個を使用する。この追記個を使用しないときは、この用紙を図むに含 めないこと。

日付:

第VⅢ欄(iv)の続き

氏名: 高城 敏己

住所: 神奈川県藤沢市 日本国

(都市名、米国の州名(該当する場合)又は国名)

郵便のあて名: 251-0021 神奈川県藤沢市鵠沼神明一丁目5番50号 日本精工株式会社内

国籍: 日本国 JAPAN

発明者の署名: アラング 子 アー (国際出願の願書に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づいて国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合。署名は代

が (国際出願の願替に発明者の署名がない場合や、規則 26 の 3 に基づい は代 て国際出願の出願後に申立ての補充や追加がなされた場合)

て国際出願の出願後に申立ての補充や追加かなされ。 理人ではなく、発明者のものでなければならない。)